

1		画像を用意します。 ネットから見つける場合は、「コップ 水」など検 索します。 できるだけ俯瞰で撮っている解像度の高い画像を 用意します。
2	自動保存       ①       □       9 < 0	画面左のスライドのサムネイルをクリックし、 「Ctrl」+「D」キーで、複製。
3	C ー ロ × C 共有     P コメント D 小レーバレージー 面高、 オブジェクトの。 近 グルレーバレージー 配置 レビシグ 日幅: 33.87 cm ① レビシグ 日間: 33.87 cm ① レビシング 日間: 33.87 cm ① レジング 日間: 33.87 cm ①	画像をダブルクリックし、 「トリミング」→「縦横比」→「1:1」。
4		正方形比率が崩れないように、「Shift」キーを押し ながら、波紋を起こす範囲をトリミングします。
5		トリミングした画像を選択し、 「Ctrl」+「C」キーで、コピー。

このマニュアルは PowerPoint Microsoft 365 バージョン 2004 で書かれています



11	<ul> <li>存 ● 20 日 9 ● 0 日 日 8 ● ▼ 1/257-9322 - PowerPoint</li> <li>ホーム 挿入 描画 デザイン 画面切り音え アニメーション スライド ショ・</li> <li>第</li> <li>○ 変形 フェード ブッシュ ワイブ スプリット</li> <li>○ アラッシュ</li> <li>ビー 単九帯 カーラン</li> <li>アコート ブッシュ アイブ スプリット</li> <li>アラッシュ</li> <li>ビー 単九帯 カーラン</li> <li>アコート ブション 変形</li> <li>ジェクト・ボード ブラインド 時計</li> <li>○ ジェクム</li> <li>アシリカーボード ブラインド 時計</li> <li>○ ジェクム</li> <li>アシリカーボード ブラインド</li> <li>アライブ スプリット</li> <li>アライブ</li> <li>アシリカーボード ブラインド</li> <li>アライブ</li> <li>アシリカーボード ブラインド</li> <li>アライブ</li> <li>アシリカーボード ブラインド</li> <li>アラム</li> <li>アーム</li> </ul>	「画面切り替え」→「さざ波」。
12	田 - □ × は 共有 □ コメント り サウンド: [サウンドなし]      画面切り替えのタイミング り期間(D): 01.40      ひかか時 マ かかか時 ダーマンク タイミング タイミング タイミング	「自動切り替え」にチェックを入れ、「2 秒」。 この秒数は、波紋と波紋の間の時間になります。
13	田 - □ × 登 共有 □ → × 単ウンド: [サウンドなし] ▼ 画面切り替えのタイミング り期間(D): 02.00 ↓ マ 白動切り替え 00:00.00 ↓ タイミング タイミング	1枚目のスライドのサムネイルをクリックし、 「自動切り替え」にチェック。
14	ファイル名(N):       プレゼソテーション2 potx         アイルの種類(I)       PowerPoint プレゼソテーション (*,pptx)         アゆびる(*,pptx)       PowerPoint マクロ有効ブレゼソテーション (*,pptx)         PowerPoint マクロ有効ブレゼソテーション (*,pptx)       PowerPoint マクロ有効ブレゼソテーション (*,pptx)         POF(*,pdf)       XPS 文書 (*,xps)         PowerPoint マクロ有効オンプレート (*,potx)       PowerPoint マクロ有効オンプレート (*,potx)         PowerPoint マクロ有効オンディ (*,ppx)       PowerPoint マクロ有効オンド (*,ppx)         PowerPoint マクロ有効オンド (*,ppx)       PowerPoint マクロ有効オンド (*,ppx)         PowerPoint マクロ有効オンド (*,ppx)       PowerPoint マンロ3 オディ (*,ppx)         PowerPoint WIL ンピンピンプ ンコン (*,mm)       MPEG-4 ビデオ (*,mm)         Mindows Media ビデオ (*,wmu)       アニメーション GIF 形式 (*,gif)	「F12」キーで、動画として保存します。 「ファイルの種類」を「MPEG-4 ビデオ」にして、 「保存」。
15		最初に作ったプレゼンテーションに戻ります。 1 枚目のスライドのサムネイルを選択。

16		「挿入」→「ビデオ」→ 「このコンピューター上のビデオ」で、 先ほど保存した動画を挿入。
17	Image: Control of the control of th	2枚目のスライドのサムネイルをクリックし、 画像をダブルクリック。
18	配置 ~	「高さ」の数値を記憶。
19		1 枚目のスライドのサムネイルをクリックし、 動画をダブルクリック。
20	国 - ロ × ピ 共有 ワコメント 学 配置 ~ 注 ヴルーブ化 ~ シ 回転 ~ サイズ 「」 へ	「高さ」に先ほど記憶した数値を入力。
21		動画が下の画像に合うように位置を調整。



26	段落 G 図形描画 再生ビデオ ? X	「タイミング」タブをクリック。
	対果 91-27 開始(S): 直前の動作と同時 ∨ 遅延(D): 0 ↓ 秒	「繰り返し」を「次のクリックまで」。
	Refsfelin(N): 繰の返し(R): □ 再生が終了し(なし) 2 開始のタイミング(3 4 5 10 次のグリックまで ス・プロ To Grages 、 OK キャンセル	ГОКЈ₀
27	自動保存 ● 12) 日 り く ひ 田 昭 島 俳 マ パレゼテ->3>1 - PowerP アrイル 本一ム 挿入 描画 デザイン 画面切り替え アニメーション スライド () ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	2枚目のスライドはいらないので、削除。
	· ✓     Z5/F ~ □     ±05/32 · ~     □     □     1     □     S     ⊕     □     ○     ↓     ↓       1     *     *     *     •     ↓     ↓     ↓     ↓     ↓     ↓	
	2	
28		「F5」キーで、スライドショーを観てみましょう。 水面で波紋が繰り返されます。